

インドネシアに営業所

建設・エネルギー・生活

兼松K G K、来月開設

工作機械など
販売・保守 日系向けサービス

兼松K G K(東京都練馬区、千葉靖雄社長、03・35557・2261)は、インドネシアの西ジャワ州ジャバベカ地区に営業所を設立する。周辺地域の工業団地に進出する日系企業向けに、工作機械や産業機械の販売および保守サービスを展開する。同社にとって同国初の営業所となり、日本人技術者も常駐する。既存の現地法人と合わせたインドネシア全体の売上高で、2015年度に現在比約倍増の5億円を目指す。

ジャバベカ営業所は11月1日に開設する。日本人の営業と技術者をそれぞれ1人、現地スタッフ3人の計5人体制で営業を始める。ジャカルタ市内から東へ35キロメートルに位置する「ジャバベカ工業団地」に近接し、周辺にも複数の工業団地がある。

これらの工業団地はジャカルタから東へ延びる「ジャカルタ・チカンペック高速道路」沿いに立

地し、既に日系の自動車関連企業が多く進出している。兼松K G Kは13年の販売・サポート事業を

にジャカルタに現地法人を設立し、工作機械などを展開してきた。

一方、同国では交通渋滞が深刻な問題となっ

おり、ジャカルタ市内から同地域へのアクセスは渋滞時には通常時の2〜3倍の時間を要する場合もある。

新設する営業所は同地域の工業団地をカバーする拠点と位置づけ、機動的な販売活動とサービスの迅速化につなげていく。

また今後の事業拡大を見込み、5年後に日本人の営業者を1人、現地スタッフを4人増員する予定。